

国際大会派遣選手選考基準
＜2022年度／令和4年度＞

技委発第21-5号通達
JPA技術委員会 委員長 二宮 正晴
(公印省略)

国際大会派遣選手選考規程第2条第2項の規定に基づいて、以下のとおり定める。

1 国際大会の選考大会

各国際大会の国内選考大会は、下記のリンクよりご確認ください。

尚、選考条件等の変更時は都度更新及び、JPAホームページにて連絡させて頂く。

[大会情報 | 【公式】公益社団法人 日本パワーリフティング協会 \(jpa-powerlifting.or.jp\)](http://jpa-powerlifting.or.jp)

2 国際大会参加基準 (参加標準記録廃止)

国際大会は定員達成まで、選考大会参加者の中の当該国際大会参加希望者より、ルールに基づき上位者より選出する。

3 選考方法 (国際大会派遣選手選考規程第3条、第6条及び第8条に準拠する)

- ・選手選考では、原則として各階級1名を選考する。但し、空き枠の発生により同階級内2名までの選考を認めることがある。
- ・選考の時点では、いかなる場合も選考会出場階級以外での国際大会参加権利は与えられないものとする (選手団結成後において、階級変更が生じる場合、各国際大会選手団長の判断に委任する。但し、同じクラスに3名の選手が出場を希望した場合、そのクラスの優勝者が最優先となり、あとはフォーミュラの高い方が優先となる)。
- ・選考の優先順位は次の通りである。① そのクラスの優勝者 ② 上記①の該当者が辞退した場合、辞退者と同階級の2位の選手 ③ この時点で空き枠が発生する場合、②に該当しない各階級2位の選手で、フォーミュラの高い順に選考する。④ この時点で空き枠が発生する場合、②及び③の選考方法に準じ3位、またはそれ以下に繰り下げて選考する。

4 選手選考における付加条件

- ・カレンダーイヤーで、国際大会の出場時点ではマスター各カテゴリーであるが、選考大会の開催時点では、そのカテゴリーに達していない競技者の場合、選考大会時は適正カレンダーイヤーのカテゴリーで出場し、国際大会出場予定時の該当カテゴリーでの選考対象に加える。
- ・優勝者のカテゴリーが変わり、空き枠が発生した場合、2位以下をそれぞれ繰り上げて選考する。
- ・マスターズクラスの選考に関しては、各選手の出場年齢カテゴリーごとに選考する。
例1：選考大会出場時はカレンダーイヤー39歳だが、国際大会出場時は40歳になる場合。
⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はオープンで参加し、マスターIの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。
例2：選考大会出場時はカレンダーイヤー49歳だが、国際大会出場時は50歳になる場合。
⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はマスターIで参加し、マスターIIの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

- 5 その他 ・技術委員会及び国際委員会は、選手団の編成や国際大会選手派遣に関する業務に支障を来す言動を取る競技者がいる場合、当該競技者を選考対象及び選手団の編成から外することができる。

以上